

平成16年7月9日
農林水産省 生産局

家畜の改良増殖目標についての研究会（乳用牛）の概要について

下記のとおり、家畜の改良増殖目標についての研究会（乳用牛）が開催されました。

記

1. 日時

平成16年7月8日（木） 10:00～12:40

2. 場所

東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省本館2階生産局第1会議室

3. 出席者

委員：別紙[PDF]のとおり

4. 議事概要

研究会の座長に富樫委員が選出され、事務局より配付資料の説明が行われた後、意見交換が行われました。委員からの主な発言は以下のとおりでした。

広く国民に理解してもらえる分かりやすいものとするについては賛成。関係者だけでなく消費者等にも、改良の成果や課題に加え、生産コスト低減への寄与等の改良の必要性が一目で分かるようなものにして欲しい。

牛群検定農家に限定すれば、乳量については目標をほぼ達成している水準にある。改良目標の対象を明確にする必要がある。

改良目標の達成度を分析する必要がある。

多様な経営形態や改良ニーズについて言及している割には、それらに応える改良についての説得力が足りないと感じる。多様な飼養形態に応じた改良目標の設定も検討すべき。

生乳一本ではなく飲用向け・加工向けの二本立ての目標設定や、北海道と都府県は別々の目標設定をし、都府県は暑さに強い牛を目指す、といった、目標の多様性について考慮してもいいのではないか。

放牧適性についての改良の必要性は認識しているが、種雄牛の改良では難しいのではないか。むしろ雌牛側での選抜で改良を進めるべき。また、放牧の推進には衛生問題の対処が不可欠であり、消費者への現状認識や生産者への注意喚起のためにも、衛生問題について言及して欲しい。

改良増殖についての目標の設定にとどまらず、その目標の達成のための手法、関係者の取り組みの指針のようなものについても記述して欲しい。

改良を更に進めるためには、雌牛の頭数の確保とそのための対策が必要。現状の雌牛頭数では、その全てを生乳生産に供しなければならず、雌牛の選抜淘汰はできない。

改良の成果は、最終的にはすべての国民が恩恵を受けているが、直接的にはすべての酪農関係者が恩恵を受けている。全酪農家が改良に参加するような体制作りについても検討が必要。

牛群検定データ等を活用した精密な飼養管理の上に現在の生乳生産が成り立っていることを、消費者等に広く理解してもらう必要がある。その上で、更なる牛群検定の

普及のためには、消費者・乳業メーカー側からの視点で働きかけることも必要ではないか。

改良のための選抜指数を改善しても、取引実態にそぐわなければ、現実としてその指数は使われぬ。乳成分取引についても議論を進めて欲しい。

遺伝的改良の成果をきちんと活用するために、血縁関係の把握と近親交配の回避が重要であることを認識する必要がある。

生涯生産性向上の議論にあっては、その必要性を改良増殖目標に記述するとともに、体型の改良は必ずしも大型化ではないこと、乳房が健康であれば必ずしも加齢とともに体細胞数が上がるわけではないことに留意する必要がある。

能力の目標が現行より下方修正される案が提示されているが、このような案を提示するのであれば、改良が長年の積み重ねであることを認識した上で、生涯生産性の向上や体型の改良をより重視した等といった理由を分かりやすく記述すべき。

初産分娩月齢の目標値などは、一点に定めるよりも、許容範囲として示すことも検討すべき。

遺伝的能力を発揮させるためには、カウコンフォート（乳牛の快適性）など、家畜の視点に立った飼養管理についても記述すべき。

生乳生産についても消費者の関心が高まりつつある。乳牛の飼養環境や飼われる牛はどうあるべきかという記述も必要。

乳用牛は牛肉供給にも大きな役割を担っている。今後の国内の食料供給を考慮すれば、肉の生産を加味した改良も検討すべき。

問い合わせ先

〒100-8950 東京都千代田区霞ヶ関1-2-1

生産局 畜産部 畜産振興課

俵積田、佐々木、信戸

Tel 03-3502-8111（内線3907、3908）

03-3591-3656（直通）

Fax 03-3593-7233

「家畜の改良増殖目標についての研究会(乳用牛)」出席委員
(五十音順・敬称略)

伊佐地 誠 (社)中央酪農会議専務理事

石橋 榮紀 (社)北海道酪農検定検査協会副会長

稲継 新太郎 (社)日本ホルスタイン登録協会専務理事

亀田 康好 酪農自営業

酒井 豊 (独)家畜改良センター新冠牧場長

鈴木 三義 国立大学法人帯広畜産大学畜産科学科教授

竹林 孝 北海道農政部農政課長

○ 富樫 研治 (独)農業・生物系特定産業技術研究機構
北海道農業研究センター畜産草地部長

長岡 正二 (社)家畜改良事業団顧問

水谷 正博 (社)日本乳業協会専務理事

(計10名)

(○は座長)